

1 いわて県民計画（2019～2028）について

長期ビジョン

長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの。

【実施期間】2019年度から2028年度までの10箇年

アクションプラン

※ 第1期：2019(R1)年度～2022(R4)年度、**第2期：2023(R5)年度～2026(R8)年度**

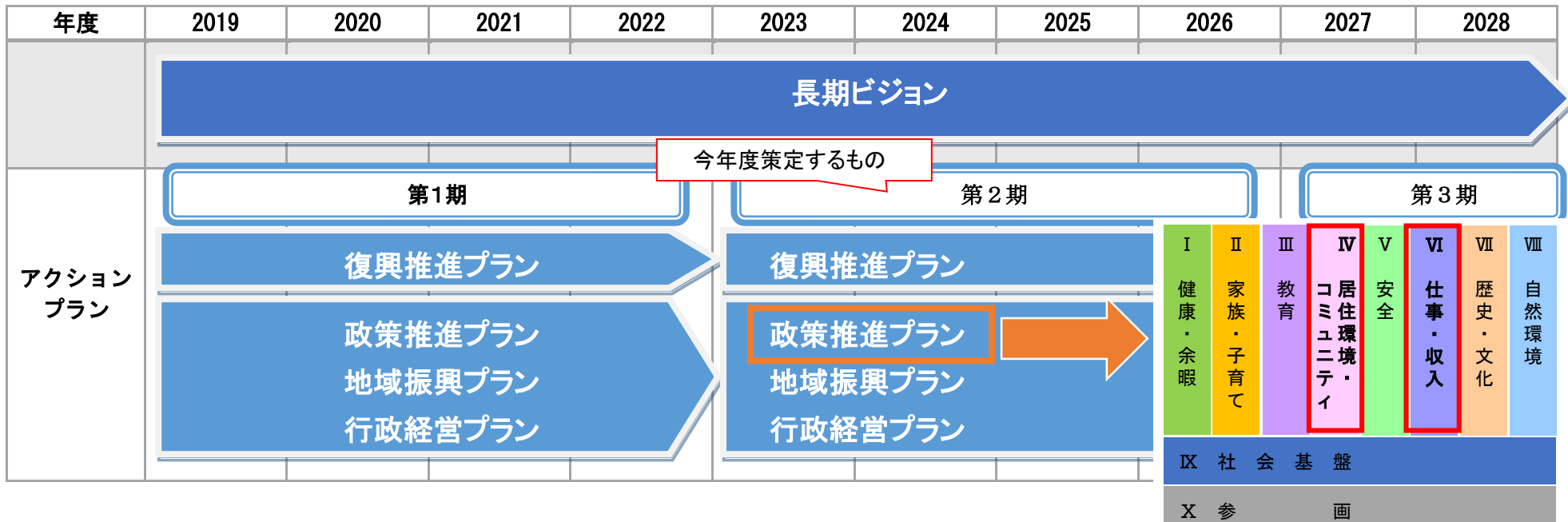
長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき施策や具体的な推進方策を盛り込むもの。

復興推進プラン

政策推進プラン

地域振興プラン

行政経営プラン



2 第2期政策推進プランの主な政策分野及び目標値（案）について

●IV 居住環境・コミュニティ(移住定住の促進)

いわて幸福関連指標 (主なもの)	単位	現状値 (R3)	年度目標値			計画目標値 (R8)
			R5	R6	R7	
県外からの移住・定住者数	人	1,584	1,830	2,030	2,250	2,500

具体的な推進方策(主なもの)

- ・ 地域おこし協力隊のネットワークづくりの支援や県内起業・就業等の促進
- ・ 岩手で暮らす・働くことの魅力発信、移住と就職の一元的な相談機能の強化
- ・ 地域で移住者を受け入れるためのサポート体制の整備 等

具体的推進方策指標 (主なもの)	単位	現状値 (R3)	年度目標値			計画目標値 (R8)
			R5	R6	R7	
移住相談件数	件	8,128	9,200	9,800	10,400	11,100
地域おこし協力隊員数	人	210	242	248	254	260

●VI 仕事・収入（県内定着、U・Iターン、雇用労働環境、起業・事業承継）

いわて幸福関連指標 （主なもの）	単位	現状値 （R3）	年度目標値			計画目標値 （R8）
			R5	R6	R7	
一人当たり県民所得の水準	%	87.4	90.0	90.0	90.0	90.0
正社員の有効求人倍率	倍	0.88	1.00	1.00	1.00	1.00
高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	84.5	84.5
総実労働時間	時間	1,761.6	1,710.1	1,684.4	1,658.7	1,633.0

具体的な推進方策（主なもの）

- ・ 安定した雇用の確保、若者や女性が働きやすい環境の整備
- ・ 中小企業者のGXやDXへの支援
- ・ スタートアップ支援の強化、事業承継の促進 等

具体的推進方策指標 （主なもの）	単位	現状値 （R3）	年度目標値			計画目標値 （R8）
			R5	R6	R7	
岩手県内に将来働いてみたいと思う企業がある高校生の割合	%	30.6	35.0	40.0	45.0	50.0
いわて働き方改革推進運動参加事業者数（累計）	件	680	945	1,080	1,215	1,350

3 第2期アクションプラン（素案）に対するパブリックコメント（抜粋）について

(1) IV 居住環境・コミュニティ(24 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します)

① 岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進

パブリックコメント	検討結果（県の考え）	反映状況
ターゲットが明確になれば、具体的な岩手県への移住の施策につながっていくのではないかと。	Uターン希望者に向けては、盆、正月の帰省時期に合わせたプロモーションの実施、Iターン希望者に向けては、本県の魅力を詰め込んだ情報誌の制作などに取り組みます。	C (趣旨同一)
概要版に成果として移住・定住者数の増加とあるが、具体的にどこから移住してきたのか、県内のどこに移住したのか。データがあれば、プロモーションに活用できるのではないかと。	具体的な移住者情報は、全てを把握しているわけではありませんが、情報把握は、重要なものと考えており、国に対しても、その統一的な仕組みづくりについて、継続して要望しています。	C (趣旨同一)

(2) VI 仕事・収入(31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくれます)

① 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進

パブリックコメント	検討結果（県の考え）	反映状況
花北地域には、事務系や販売関係の仕事がなく、就職希望の高校生がいろいろ苦慮しているので、今後の課題として取り組んでいかなければならないのではないかと。	県内企業が知られていないことが、「事務系や販売関係の仕事が県内にはない」と思われている理由の一つと考えられるため、高校生に対する県内企業への理解促進や認知度向上等に取り組めます。	C (趣旨同一)
各企業のホームページについて、学生目線に立った時に、もう一歩二歩踏み込んだホームページがあってもいいのではないかと。	県内企業の大卒者等若者人材の採用力向上に向けて、WEBの有効活用も含めた自社の魅力の効果的なPR方法等の勉強会を開催します。	C (趣旨同一)
学生の就職に関しては、保護者の意見が強いので、保護者向けの情報交換会や保護者向けの会社説明会などが、かなり大きな要素になるのではないかと。	LINEアカウント「いわてとつながろう」などにより、保護者への県内企業の情報提供等に取り組むとともに、「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携して、県内保護者会を通じたUターン就職の促進等を図ります。	C (趣旨同一)

② 若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の構築

パブリックコメント	検討結果（県の考え）	反映状況
建設業においては小規模な事業者が多く、そうした小規模事業者が週休二日、そしてICTの導入を図れるような環境づくりが重要であることから、全体の底上げを図る取組についてぜひお願いしたい。	「いわて働き方改革推進運動」の展開により、デジタル技術等を活用した労働生産性の向上、長時間労働の是正、休暇制度の整備促進に取り組めます。	C (趣旨同一)
アンコンシャス・バイアスについては、首都圏より地方が色濃く感じられる。アンコンシャス・バイアスをなくす取組については、ぜひ、頑張ってもらいたい。	経済団体との勉強会やいわて働き方改革AWARDを受賞した企業の見学会等に取り組めます。	C (趣旨同一)

(3) VI 仕事・収入 (32 地域経済を支える中小企業の振興を図ります)

① 若者をはじめとする起業家の育成による経営人材の確保、起業・スタートアップの支援

パブリックコメント	検討結果（県の考え）	反映状況
若者の起業家の育成という点で、U・Iターン等を検討している人達に「岩手は心機一転、再挑戦できる県」などのキャッチフレーズをつくって首都圏などでPRしていただきたい。	市町村や金融機関、岩手イノベーションベースや県出身IT経営者等との連携により、起業のステージやパターンに適したプログラムの提供等を通して起業・スタートアップ支援を強化します。	C (趣旨同一)

② 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化や人材育成に向けた取組の促進

パブリックコメント	検討結果（県の考え）	反映状況
事業承継がどういうふうに行えるかなど、普通の方々には情報が届きにくいので、そういう情報が整備されて届きやすい環境にしていきたい。	商工指導団体による経営者との対話・相談の促進や、「つぐべ岩手」を活用し事業承継の重要性、必要性の周知、潜在ニーズの掘り起こしを行います。	C (趣旨同一)

金融経済概況

- 【国内経済】持ち直し基調だが、物価動向や世界情勢等の影響から、不確実性はきわめて高い。
- 【県内経済】緩やかに持ち直している。
- 【個人消費】持ち直しの動きが進捗している。
- 【生産】一部に弱さが窺われるが、持ち直し基調にある。
- 【雇用・所得】改善している。

(日本銀行盛岡事務所「岩手県金融経済概況(令和4年12月)」
令和5年1月30日発表)

労働市場概況

- 【有効求人倍率】 1.33倍
- 【有効求人数】 27,687人(前月比 ▲3.6%)
- 【有効求職者数】 20,744人(前月比 +2.1%)
- 【正社員の有効求人倍率】 0.96倍(前月比▲0.02%)
(全国平均1.11倍)
- 【R5.3卒新規高卒予定者就職内定率】 95.6%

※数値は全てR4.12末時点
(岩手労働局 令和5年1月31日発表)

現状と課題

- ・ 2000年以降から本格的な人口減少期を迎えており、人口規模の縮小とともに生産年齢人口の減少による人口構造の大きな変化が見込まれ、労働力不足及びそれに伴う生産量(生産高)の低下が懸念される。
- ・ 自動車、半導体関連産業を中心に、企業立地や増設が進み、ものづくりを担う人材の確保が求められている。
- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核として、オール岩手の体制で県内就業の促進や働き方改革の推進に取り組んでいる。
- ・ コロナ禍を契機とする地方志向の高まり等が見られる。
- ・ 県内企業のデジタル化の促進や経営・技術両面のイノベーションの推進による生産性の向上を図る取組を支援し、企業の魅力と雇用の質を高め、働く意欲のある全ての人が希望をもって県内で就労できる雇用・労働環境の整備を促進する必要がある。

取組方針

県内定着

- ・ 県内就職率の向上
- ・ キャリア形成の促進

U・Iターン

- ・ Uターン(県外進学者・就職者向け)の取組の促進
- ・ Iターン(県外出身者向け)の取組の促進

雇用労働環境

- ・ 働き方改革の推進
- ・ 職場定着の促進
- ・ 処遇改善の推進

起業・事業承継

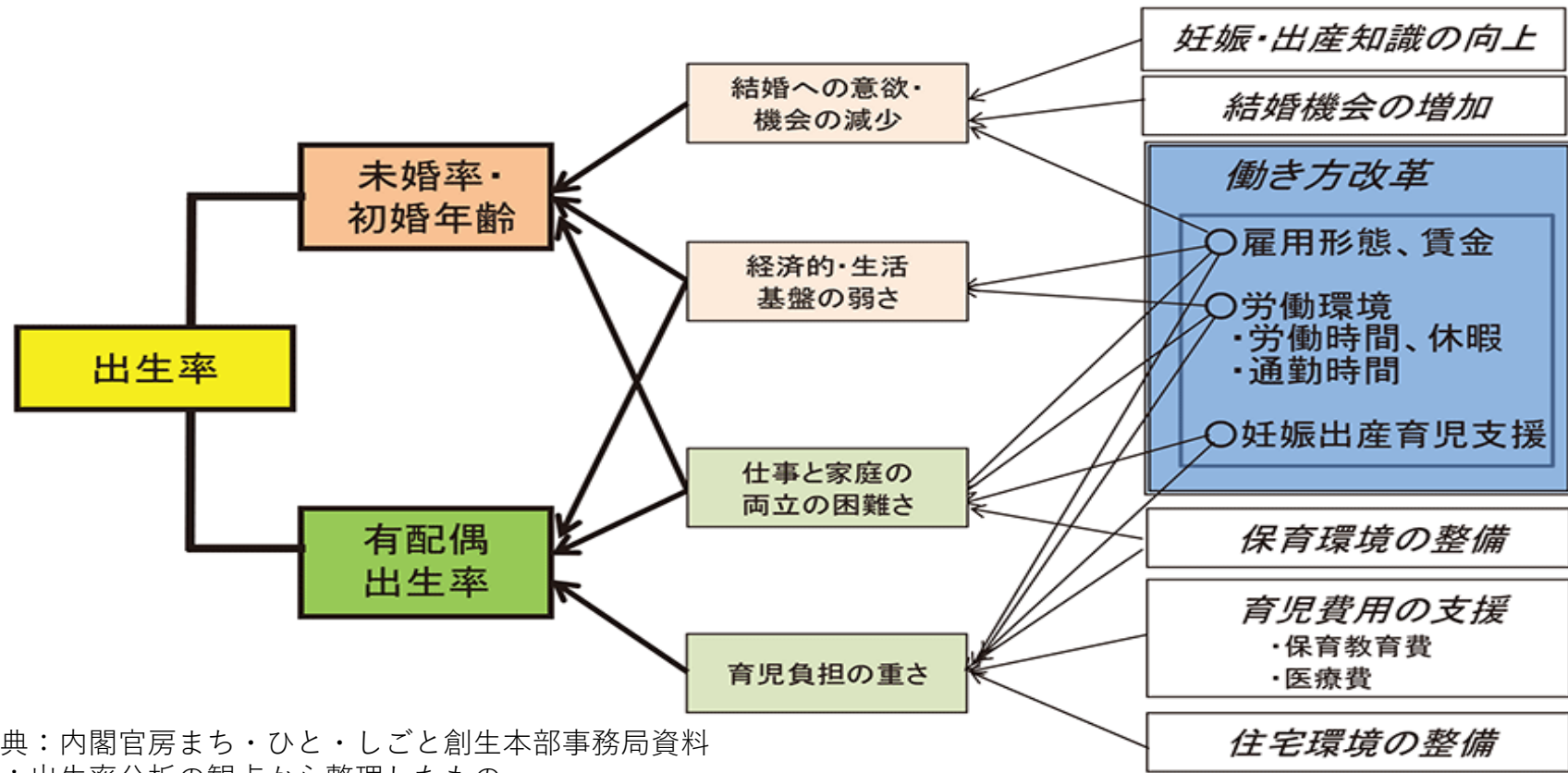
- ・ 起業・創業支援の強化
- ・ 事業承継の促進

岩手県における取組方針

- 市町村、民間企業等と連携した少子化対策の更なる強化
 コロナ禍を乗り越え、市町村、民間企業等と連携し、オール岩手で結婚機会の増加、**働き方改革**、育児費用の支援など少子化対策の更なる強化が必要

人口減少の要因（出生率に影響を及ぼす諸要因 -分析の観点-）

- 出生率は、大きく「未婚率・初婚年齢」と「有配偶出生率」とに分けて分析される。
- それぞれが様々な要因の影響を受けているが、その中で「働き方」は大きな部分を占めていると考えられる。



出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局資料
 注：出生率分析の観点から整理したもの。

1 県内定着

取組内容	重点事項
<p>(1) 県内就職率の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 就職希望の高校生に対する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業支援推進事業（高校生等の就職等やキャリア教育支援の実施） ◆ 大学生等に対する取組の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて就業促進事業（県内企業の魅力を伝える授業等の実施） ・ ジョブカフェいわて管理運営事業（キャリアカウンセリングの実施） ・ 高校奨学事業費補助（（公財）岩手育英奨学会が実施する奨学金の貸与等に要する経費を補助） ◆ 保護者に対する取組の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわてとつながろうLINEによる保護者等への県内企業等の情報発信 ◆ 県内企業に対する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて就業促進事業（インターンシップの取組支援や大卒者等若者人材の確保の勉強会の実施） ・ みらいもりおか人材確保推進事業（IT人材を求める企業でのインターンシップ等の実施）【盛岡局】
<p>(2) キャリア形成の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 進学希望の高校生や就活前の学生、女子学生等に対する県内企業の魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて就業促進事業（進学希望者向け大学・企業等の合同説明会、職場体験の実施） ◆ 児童・生徒等と県内企業等との交流による将来的な県内定着に向けた働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業支援推進事業（高校や大学等へのキャリア教育支援の実施） ・ 北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業（ものづくり企業を対象とした勉強会の開催）

※文書の最後に【】部署名がついていない事業は、全て商工労働観光部事業

2 U・Iターン

取組内容	重点事項
<p>(1) Uターン (県外進学者・就職者向け)の取組の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大学と連携した学生等に対するU・Iターン就職支援策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業（県外大学等対象とした企業見学会の強化） ・ いわてで就農応援事業（就農相談活動、メタバースでの学びの場の提供等）【農水】 ◆ インターンシップ、ワーキングホリデーの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわてとつながろう働く魅力発信事業費（「シゴトバクラシバいわて」にインターンシップ特設ページを開設） ◆ 岩手に帰り、地元で働き、暮らすことの魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわてとつながろう働く魅力発信事業費（「シゴトバクラシバいわて」内に岩手で働く魅力・価値を紹介する新たなコンテンツを設ける）
<p>(2) Iターン (県外出身者向け)の取組の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者の受入れ体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて暮らし応援事業（子育て世帯や若者・女性の移住に伴う経費相当額を増額・創設） ◆ インターンシップ、ワーキングホリデーの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県南圏域移住者受入態勢整備事業（移住者受け入れの在り方検討や、ワーケーション実施）【県南局】 ◆ 岩手に移住し、岩手で働き、暮らすことの魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて三陸U・Iターン促進事業（地域が一体となって情報発信できる場の設置）【沿岸局】 ・ 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業（フィールドワーク等を行いながら学生の視点で新たな取組を考案）【県北局】

※文書の最後に【】部署名がついていない事業は、全て商工労働観光部事業

3 雇用労働環境

取組内容	重点事項
(1) 働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「いわて働き方改革推進運動」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて働き方改革アワードの実施、いわて働き方改革加速化推進運動の周知・啓発 ◆ 省力化や機械化、デジタル化による生産性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルリスキリング推進事業（DXスキル習得セミナーの実施によるデジタル人材の育成） ・ いわて戦略的DX・GX等研究開発推進事業（産業のDX・GXに資する将来有望な研究シーズの育成や研究開発を支援）【ふ振】 ・ 建設DX推進事業（ICT機器や、事務管理業務へのDXを導入する企業等を支援）【県土】 ・ 遠隔医療設備整備事業費補助（オンライン診療を含む遠隔医療に必要な設備整備に要する経費を補助）【保福】 ◆ 若者や女性に魅力ある職場環境の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある職場づくり推進事業（雇用・労働環境の整備に要する経費を補助）
(2) 処遇改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 正社員就職等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域就職氷河期世代支援加速化事業（オンラインでのマッチング支援、企業向けセミナー、eラーニング講座等を実施） ◆ 離職者の再就職に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 離職者等再就職訓練（企業が求める国資格等の高い職業能力の習得支援）
(3) 職場定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多様な人材が活躍できる支援体制や制度の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて就業促進事業（インターンシップセミナー等を実施） ◆ 安定的な雇用の確保等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な雇用の確保の要請活動（岩手労働局等と連携し、企業や経済団体等に対する要請）

※文書の最後に【】部署名がついていない事業は、全て商工労働観光部事業

4 起業・事業承継

取組内容	重点事項
<p>(1) 起業・創業支援の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 若者・女性等の起業・創業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者・女性創業支援資金貸付金（若者（39歳以下）・女性の新規創業者に対し、資金の貸付、貸付当初3年間の利子及び貸付期間分の保証料を全額補助） ◆ 産業人材の確保支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・スタートアップ推進事業（県内大学生や若手社会人を対象に実践的な起業家教育の実施及び「岩手イノベーションベース」と連携した起業家予備軍への支援） ◆ 起業・スタートアップ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・スタートアップ推進事業（起業のステージやパターンに適したプログラムの提供等）
<p>(2) 事業承継の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業承継支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業承継推進事業（事業拡大や新規事業の実施に要する経費を補助、後継者を対象とした勉強会の開催）

※文書の最後に【】部署名がついていない事業は、全て商工労働観光部事業

〔令和5年度以降の「いわてで働こう推進協議会」の基本的な考え方〕

「県内定着」、「雇用労働環境」、「起業・事業承継」、「U・Iターン」の4つの事項に取り組み、**若者や女性が「岩手で働く」ことを促進する**

第2期アクションプラン（政策推進プラン）（案）からの抜粋

2 第2期政策推進プランの重点事項（P7）

本県の人口は平成9年以降減少を続けており、これまで、産業振興や安定した雇用の確保、子育て環境の整備、移住・定住の促進などの自然減対策と社会減対策を進めてきました。近年、新型コロナの影響により、地方移住への関心が高まる一方で、婚姻件数や出生数が減少しており、負の影響の長期化が懸念されています。人口減少は、希望する就業や就職のしにくさ、結婚、妊娠・出産、子育てのしにくさといった「生きにくさ」が背景にあると考えられます。人口減少に立ち向かい「生きにくさ」を「生きやすさ」に変えるとともに、新型コロナの収束を見据え、社会経済の活性化を図っていく必要があります。

また、第1期政策推進プラン策定後、新型コロナへの対応や人口減少の一層の進行のほか、温室効果ガス排出量2050年度実質ゼロに向けた機運の高まりや、新型コロナを契機としたデジタル技術の利活用の進展が見られ、こうした社会経済情勢の変化に的確に対応しつつ、人口減少対策を進めていく必要があります。

VI 仕事・収入（P173）

安定した雇用の確保、若者や女性等が働きやすい環境の整備を進め、必要な収入や所得が得られていると実感できる岩手の実現を目指します。

VI 仕事・収入（P176）

県民一人ひとりが能力を発揮でき、ライフステージやライフスタイルに合わせて希望に応じた多様な働き方ができる環境づくりに向け、長時間労働の是正やデジタル技術等を活用した企業の生産性の向上等の働き方改革を推進するとともに、働く人のエンゲージメントを高め、若者や女性にも魅力ある雇用・労働環境の整備を促進します。

III 教育（P109）

児童生徒の興味関心や適性に基づいた進路実現が可能になるよう、学校全体で計画的・組織的にキャリア教育を更に推進する必要があります。

また、生徒が職業について知り、自らのライフデザインについて考える機会の充実を図る必要があります。

【いわてで働こう宣言2023】（仮称）R5.0月

〔前文素案〕

（平成28年6月の宣言以降の環境の変化等）

平成28年6月に「いわてで働こう宣言」を行ってから今日まで、いわてで働こう推進協議会を核として、若者や女性等の県内就業やU・Iターンの促進などに取り組んできた。

その後、岩手を取り巻く環境は、いわて県民計画（2019～2028）の策定、自動車・半導体関連産業を中心としたものづくり産業集積の進展による雇用ニーズの拡大、新型コロナウイルス感染症の影響による地方への関心の高まり、デジタル化の急速な進展、地元定着の意識向上による高卒者の県内就職率の上昇など、大きく変化してきている。

こうした状況を踏まえ、地元志向・地方志向の高まりや、テレワークをはじめとする多様な働き方の加速など、個人の意識・行動変容に対応した「生きやすい」岩手を実現する。

そのために、若者や女性等の希望に合う就職先の確保、柔軟で多様な働き方の普及を進めるとともに、移住希望者に対する就職と暮らしの一元的な支援を強化するなどの取組を総合的に展開し、社会減対策を一層強化していく。

私たちは、若者や女性等が、住みたい、働きたい、帰りたいと思える岩手を県民みんなで創造していくことをここに宣言する。

〔宣言素案〕

（各業界のあるべき姿（行政・産業界・教育））

宣言1 岩手において やりがいと十分な所得が得られる仕事の実現します。

宣言2 岩手において 女性も男性も共に働き共に家事や育児ができる働き方を実現します。

宣言3 岩手において キャリア教育で児童・生徒・学生のライフデザインを可能にします。

いわてで働こう宣言

県内産業の発展を支える若者や女性の人材確保が大きな課題となる中、復興に取り組む沿岸市町村では、東日本大震災津波後に増加している若者世代があるなど、明るい兆しが見られる。

資源不足の時代に技術革新が起こり、産業が発展したように、この人手不足の時代を岩手の発展のチャンスと捉え挑戦する必要がある、震災からの復興を成し遂げようとしている岩手にはその力がある。

人口減少に伴う人手不足は構造的な課題であるが、この現状を打開するため、例えば、産業界においては労働生産性の向上を図り、雇用・労働の質の向上につなげるなど、各分野における人材の確保・育成に向けて、これまで以上に連携して取り組んでいかなければならない。

若者や女性には岩手の将来を切り拓く大きな可能性があり、地域が協働して育成し、一人ひとりが能力を活かし合うことで、若者や女性は、都会では得られない安心や温かさにあふれたこの岩手の地で生きること、働くことの幸せを実感できる。

私たちは、県民が生きがいを感じながら暮らす、希望に満ちあふれた岩手を実現するために、岩手に住みたい、岩手で働きたい、岩手に帰りたいという若者等の熱い思いに、オール岩手で応えていくことをここに宣言する。

- 1 県民みんなが生き活きと安心して働くことができるふるさと岩手を創造します。
- 2 若者や女性がやりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出し、その情報を発信します。
- 3 自ら学び、自ら実践し、自ら地域に貢献できる人間教育を展開します。

平成28年6月16日
いわてで働こう推進協議会

いわての企業で

いきいき働こう。



社会福祉法人とおの松寿会

株式会社小田島組



板谷建設株式会社

社会保険労務士法人ワイズコンサルタント



社会福祉法人愛護会

盛岡ガス株式会社



信幸プロテック株式会社

株式会社菊池技研コンサルタント



株式会社吉田測量設計

株式会社長島製作所

この他にも多くの企業が認定されています！
性別問わず！岩手で働いたら…

「いわて女性活躍認定企業」がおすすりめです！



「いわて女性活躍認定企業」とは？

岩手県では、女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業などを「いわて女性活躍認定企業等(ステップ1)」、「いわて女性活躍認定企業等(ステップ2)」として認定しています。認定企業は、誰もが働きやすく、働きがいのある職場づくりに取り組んでいます。[のべ認定企業数407社(R4.12月末現在)]

「動画公開中!!」

「働きやすさ」に取り組む企業をご紹介



いわて女性の活躍
応援サイト

<https://www5.pref.iwate.jp/~hp0313/>



性別問わず!岩手で働いたら…

「いわて女性活躍認定企業」がおすすりめです!

認定企業は例えばこんなことに取り組んでいます。

- 助け合える職場の雰囲気づくり
- 資格取得やキャリアアップ支援
- 子育て中でも働きやすい職場環境づくり
- 仕事以外のことも充実できる柔軟な働き方

Step.1



Step.2



どんな会社があるか動画で見よう!



新しくて明るくて
かっこいい
介護の仕事を
岩手・遠野から
世界へ発信する。



社会福祉法人とおの松寿会
遠野市/社会福祉事業

常識にとられない
新しい取り組みで
首都圏に負けない
働き方や給与に
挑戦する。



株式会社小田島組
北上市/建設業

親愛に満ちた社風で
社員の仕事と家庭の
両立を支援しながら
社員の挑戦を応援する。



板谷建設株式会社
奥州市/総合工事業

取り組みがいのある
カタイ仕事。
それを扱う
ヤワラかい人たちが
地域企業を元気にする。



社会保険労務士法人ワイズコンサルタンツ
矢巾町/社会保険労務士事務所

職員も
支援を必要とする人も
どちらの人生も生かす
働き方を研究する。



社会福祉法人愛護会
奥州市/社会福祉事業

ワークライフバランスを
実現しながら
地域の快適な生活を
支える。



盛岡ガス株式会社
盛岡市/ガス事業

三世代経営で
多様な能力を持つ
社員一人一人が
互いに協力し合い、
教え合う環境がある。



信幸プロテック株式会社
矢巾町/空調設備業

若者の力を
積極的に活用。
地域を支え、
活気づけていく。



株式会社菊池技研コンサルタント
大船渡市/専門、技術サービス業

社員の個々の
スキル向上を
目指しながら
自己実現を
可能にする。



株式会社吉田測量設計
盛岡市/専門、技術サービス業

風通しの良い
職場環境で
時代に合った働き方を
社員全員で作っていく。



株式会社長島製作所
一関市/製造加工業

岩手には魅力的な企業がたくさんあります。ぜひご覧ください!